

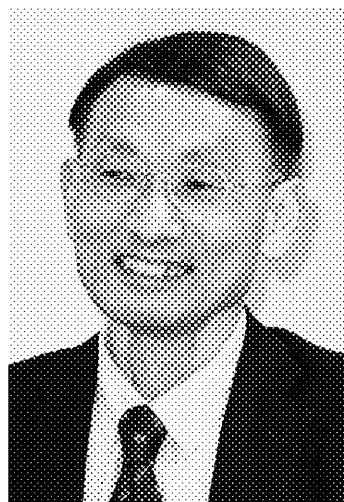
# 研究開発 の道案内

## KRIの挑戦

■ 5 ■

KRI社長

川崎真一氏



を得ている。強みや今後の戦略について川崎真一社長に聞いた。

— KRIの特徴は。

「特定分野だけでなく、幅広い分野を手がける。大学の研究より実用的、国や自治体の試験機関より研究的という、ちよつと良い立ち位置にある。また案件の半分は当社独自の研究に基づく提案型だ。顧客企業が、当社とコンタクトを取ることで何か生まれるの

では、と期待してもらえるのが大事。受託研究ではあるが、決して

「京都の本社は、大規模な展開するオープンラボに特に関西地域に備中だ。それに合わせ変更して、心機一転で体制を整備した」

「今後の展望は。これまでは、とがエルパ』のような存在を目指していく」

「おわり。大阪・園尾雅之が担当しました」

「カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）関連の研究開発は、大阪市此花区の西島地区で展開する。大ガスが同地区を減らさざるを得ず、社名を現在のKRIに変更して、心機一転で体制を整備した」

「これまでは、とがエルパ』のような存在を目指していく」

「おわり。大阪・園尾雅之が担当しました」

# 受け身でない受託研究開発

（おわり。大阪・園尾雅之が担当しました）

の2000年代前半、体制を一新しました。「それまでは主に中長期な研究開発を提案してきたが、企業も資金的余裕がなくなり、目先の研究開発にシフトしていった。直近のことは企業が自前でやると、その「少し先」を当社に依頼されるようになった。当社も人員を減らさざるを得ず、社名を現在のKRIに変更して、心機一転で体制を整備した」

「今後の展望は。これまでは、とがエルパ』のような存在を目指していく」

「おわり。大阪・園尾雅之が担当しました」

「カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）関連の研究開発は、大阪市此花区の西島地区で展開する。大ガスが同地区を減らさざるを得ず、社名を現在のKRIに変更して、心機一転で体制を整備した」

「これまでは、とがエルパ』のような存在を目指していく」

「おわり。大阪・園尾雅之が担当しました」

「カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）関連の研究開発は、大阪市此花区の西島地区で展開する。大ガスが同地区を減らさざるを得ず、社名を現在のKRIに変更して、心機一転で体制を整備した」

「これまでは、とがエルパ』のような存在を目指していく」

「おわり。大阪・園尾雅之が担当しました」